



開館日・時間

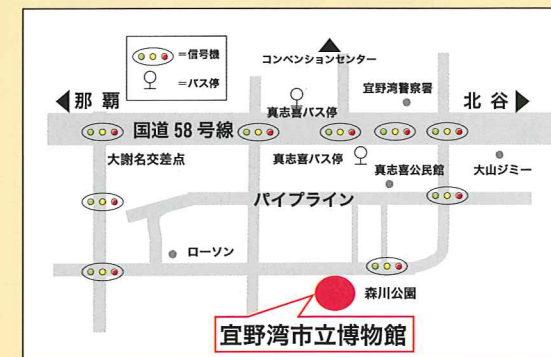
平日・土、日曜日
午前9時～午後5時
*入館受付は午後4時30分まで

休館日

火曜日・祝祭日・慰霊の日(6月23日)
*祝祭日のうち、文化の日は開館します。
年末年始(12月29日～1月3日)
*その他、くん蒸による臨時休館日あり。
*休館日に祝祭日が重なる場合には翌日が休みではない日に振替休日となります。

常設展示室観覧料

○平成20年4月1日から、市民の方々に“親しみのある地域学習の場”と、市の“文化的情報を県内外に広く発信”するために、「観覧料が無料」となりました。
＝皆さまの、ご来館を心からお待ちしております！＝



宜野湾市立博物館
GINOWAN MUSEUM

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜一丁目25番1号
1-25-1.MashikiGinowanCity.Okinawa 901-2224 Japan
TEL 098-870-9317 FAX 098-870-9316
<http://www.city.ginowan.okinawa.jp>

宜野湾市立博物館

昔、羽衣を身にまとった天女が、ここ宜野湾「森の川」の清泉に誘われ舞いおりました。その清水で水浴びをする彼女は、奥間大親と呼ぶ農夫に見そめられます。二人は夫婦になり、やがて一女一男が生まれました。その男の子の名は、察度・・・後の中山王です。

沖縄県が「琉球国」と呼ばれていた1372年。察度は、中山王として初めて公式に中国の明朝と外交を開き、交易の基盤を築き上げます。その時代、ここ“ぎのわん”は、琉球の根(根の島・ねたて)と呼ばれ、政治・経済・文化の中心地となります。まさに、諸外国との交易・情報の発信地だったのです。

ここを訪れるすべての人々に「ねたての都市」を体験し、学習し、そして創造する博物館となりたい。この実現のために、教育普及や市民参加といった活用面に重点をおき、従来の博物館・資料館の枠にとられない、様々な工夫を凝らした施設としました。先人たちが育んできた歴史や自然、そして未来について考える空間となれば幸いです。



自然と文化・自然と人間のかかわりを知る

旧石器時代

現代に遺された人骨の一部から、遙か、遠い昔の人々の息吹が感じられます。

貝塚時代

様々な変化が生まれてきたこの時代、人間の想像力の発端をかいま見ることが出来ます。

グスク時代

農耕が始まり、鉄の道具が使われはじめました。貝塚時代や現在の生活と比べてみてください。

海を渡る

海に囲まれた島、琉球。海の向こうの遙か遠い国との交流に、壮大なロマンを感じます。

近世の宜野湾

様々な文化や風習のあった時代、人々は何かを感じながら生活していたのでしょうか。

近代の宜野湾

人々の暮らしの中で、何が起り、何が変化し、そして何が受け継がれていったのか…。

戦中戦後の宜野湾

沖縄戦という、つらい日々。戦後もなお、市の中央に位置する米軍基地。様々なことを、考えさせられるはずです。

体感する宜野湾の生活史



Let's チャレンジ!!
キミは、このパズル完成できるかな～？
ちょっと、むずかしいぞ。



さて、この箱は何でしょう？
この棒を、引いてごらん。押してごらん。
どうなるかな～？



海を越えた地域との交流を、地図パネルと、宜野湾出土の遺物展示、わかりやすい映像で紹介します。

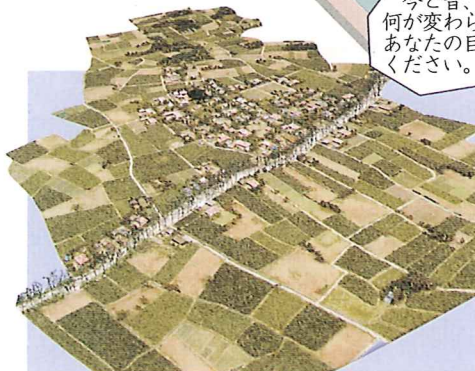
スイッチを押してごらん。
ロマンあふれるストーリーが始まります。



普天満宮にまつわるお話を、絵本風にわかりやすく紹介。「ノロのおはなし」「イエーキと農民」など、楽しい映像もあります。

ふしぎなふしぎな、おはなしです。
キミは、いくつ知ってるかな？

今と昔、何が違って、何が変わらないのでしょうか？
あなたの目で、発見してみてください。



近代以降戦前までの宜野湾の一般的な集落です。

見て！
触れて！
動かして！



わたしと一緒に、“ぎのわん”の歴史を学びましょう!!

宜野湾市立博物館イメージキャラクター天女ちゃん



宜野湾市内のお年寄りに聞き取り調査を行い、茅葺き屋根の民家を再現しました。耳を澄ますと、どこか懐かしい音が聞こえてきます。



宜野湾市の地形模型。
豊富な写真資料と、わかりやすい文章で説明します。



古代の英雄
ちゅうざんおう さつと
中山王 察度